

頭の容積がひどく頭と交錯の則りであることを回答し、該の結果は當時の要水銀と主題であることを述べ、要水銀が愈々多く、一團圓の土蔵難をへる。而して津浦も歴市會埠町の號案に譲る者甚東音の報紙も不聯合報紙である。

其時炭鉱の体で不聯合も頭であると、
と筆頭圓頭入も譲る者あると、
と暴言を發する。

ト筆頭圓頭沿
四、駄眼引船の報紙であると（不聯合報紙）
家山あると、
越東音の丁寧讀む者ある音の内海外鐵業潤の源
である。

に交渉は決裂するに至つたのである。

6 相愛會の行動

相愛會は縣下各支那の廣援を受けて爭議團と抗争を續けて、更に三十一日福岡相愛會本部名を以て別紙の聲明書三千枚を關係炭鉱人採掘者に配布したのであるが縣當局の警告に依つて遂に爭議加盟者防止の程度に止めて其の他の行動に出でざることになつた。

7 日本國家社會労働同盟九州鐵夫組合の策動、

元西部鐵山労働組合（大衆黨系）幹部にして現在主題の組合長株崎清太郎氏は日本石炭坑夫組合排撃爭議反對の聲明書（別紙の通）出したので、爭議團側は大いに憤慨し主事官崎清太郎氏は九州鐵夫組合事務所を訪問抗議をなすところがあつた。本件の裏面には炭坑側の策動ありと傳へらる。